

# 御声援ありがとうございました。

先日 の 県 総 体 を も っ て、65 回 生 運 動 部 の 生 徒 ち は、こ れ ま で 精 力 的 に 取 り 組 ん で き た 部 活 動 に 一 区 切 り を つ け ま し た。今 後 は、各 自 の 進 路 実 現 を め ざ し て、自 分 自 身 と の 新 た な 闘 い が 始 ま り ま す。各 部 の 部 長 に 戦 績 と 挨拶 を お 願 い し ま し た。

## 男子ソフトテニス部

### 【戦績】

東播総体 個人戦 予選敗退 団体戦 第 8 位  
県総体 団体戦 1 回戦 小野 2 - 1 八鹿  
2 回戦 小野 1 2 和田山

### 【部長挨拶】(F 伊藤正也)

65 回 生 の 男 子 ソ フ ト テ ニ ス 部 は 当 初 4 人 だ け だ っ た の に 加 え て 後 に 3 人 が 新 た に 入 部 し、計 7 名 で 活 動 し て き ま し た。技 術 的 指 導 者 が い な い 中 で、自 分 ち だ ち で 意 見 を 出 し あ っ て 練 習 し て き ま し た。先 輩 方 か ら 受 け 継 い だ 「 近 畿 大 出 場 」 を 目 標 に 今 回 最 後 の 総 体 に 臨 み ま し た。今 年 度 か ら 新 顧 問 で あ る 田 中 先 生 が 我 々 の 技 術 的 指 導 を し て 下 さ り、結 果 的 に は 近 畿 大 会 ま で は 届 け な か っ た も の の、県 大 会 で は 十 分 に 力 を 出 し 切 っ て 戦 う こ と が 出 来 ま し た。僕 は 1 年 間 キ ャ プ テ ン を 務 め ま し た が、周 り の 仲 間、先 生 方、家 族 の 支 え が あ っ た か ら こ そ 務 め を 果 た す こ と が 出 来 ま し た。総 体 前 の 練 習 に お い て は 田 中 先 生、林 先 生 の ご 指 導 に よ り 以 前 よ り 本 当 に 技 術 的、精 神 的 に も 成 長 す る こ と が でき ま し た。ま た、多 くの 練 習 試 合 を 組 ん で 下 さ っ た 石 田 先 生、寺 根 先 生 に は 本 当 に お 世 話 に な り ま し た。あ り が と う ご ざ い ま し た。こ れ か ら も あ ら ゆ る 場 面 に お い て 感 謝 の 気 持 ち は 絶 対 忘 れ な い で い き ま す。最 後 に、2 年 間 共 に 戦 っ た 仲 間 へ あ り が と う ！

## 女子ソフトテニス部

### 【戦績】

春季東播大会団体戦 7 位  
1 回戦 小野 3 - 0 高砂, 2 回戦 小野 2 - 1 加古川西  
3 回戦 小野 1 - 2 三木  
順位決定戦 小野 0 - 2 加古川東, 小野 2 - 1 明石清水  
県総合体育大会団体戦  
1 回戦 小野 3 - 0 甲子園学院, 2 回戦 小野 1 - 2 鳴尾

### 【部長挨拶】(H 橋田里奈)

個人戦では、残念ながらどのペアも県大会出場はできませんでした。しかし、団体戦では東播大会と県大会では全員の気持ちが一つとなり、とてもいい雰囲気です試合に臨むことができましたが、目標としていた近畿大会にはまだまだ力不足で、県大会止まりとなってしまいました。小野高校は練習時間が短いため、それぞれが集中し、練習試合などをどれだけ大事にするかを問われました。冬の間は基礎練習を中心に着実にこなしていき、全員が確実に、技術面だけではなく、精神面でも成長して春を迎えることができました。私たちは、大きな結果は残していませんが、今回県大会出場を決めた加古川西高校との試合は、私たちの大きな自信へとつながったのではないかと思います。最後に、毎日指導して下さった先生方や、試合の度に応援してくれた家族や友人、今まで一緒に部活をしてきた仲間を支えられて、こうしていい形で引退を迎えられたことにとっても感謝します。

## 陸上競技部 (男女)

### 【戦績】

東播IH (5月12・13日加古川運動公園陸上競技場)  
男子  
400m : 5 位 51 秒 40 佐藤颯真  
800m : 4 位 1 分 57 秒 95 高岸信策  
4 x 100R : 6 位 44 秒 38 岩佐・佐藤・藤原・西村  
4 x 400R : 3 位 3 分 30 秒 42 井上・西村・藤原・佐藤  
女子  
4 x 100R : 1 位 49 秒 98 江畑・田中・山口・城谷  
県IH (6月1~3日 神戸ユニバー記念競技場)  
男子  
4 x 400R : 8 位 3 分 21 秒 74 藤原・西村・佐藤・高岸

### 【部長挨拶】(B 井上浩明)

この総体では、残念ながら3年生からは誰一人、県IHを突破して近畿IHへと駒を進めることはできませんでした。多くの方が悔しい思いをし、僕自身悔し涙を流しました。結果としては満足のいくものではありませんでしたが、この総体の中で強く印象に残っているレースがあります。

それは県 IH の男子 4 × 400mR (マイル) です。今までマイルメンバーを引っ張ってきた佐々木が走れませんでした。ベストを更新し、決勝に進むことができました。必死に前のチームを追いかけ走る選手、また彼らを応援する仲間。惜しくも近畿 IH への切符を手に入れることは出来ませんでした。みんなの想いが一つになり、チームのまとまりを強く感じる事ができました。また、「仲間」の存在の大切さ、つながりをこの総体で改めて感じる事ができました。好記録を出した時に一緒に喜んでくれる仲間、悔しい結果に終わった時に慰めてくれる仲間、苦しい練習も互いに声を掛け合い乗り越えてきた仲間。そんなかけがえのない「仲間」を僕たちはこれからも大切にしていきたいと思えます。

### サッカー部

#### 【戦績】

県総体

3 回戦 0 - 0 柳学園(延長 1 - 0) , 4 回戦 0 - 1 須磨東  
【部長挨拶】(H 黒井星哉)

3 年生全員で挑んだ最後の大会「総体」。僕たちサッカー部は全国大会出場を目指し全力で一戦一戦、チームの総合力で挑みました。振り返ってみると、キャプテンの僕は総体一か月前の試合の骨折のため総体に出場できないという中、練習でも試合でもチームをひっぱってくれたのは三年生のみなでした。どの試合も総体と言うことがあって、激しく、気持ちがプレーに出た試合でした。三回戦の柳学園との試合は、初戦ということもあり、緊張からかプレーが固くいつもの動きではありませんでした。後半からはいつも通りのプレーに戻り、徐々に柳ゴールに迫りました。70分では決着がつかず勝負は延長戦に。延長開始直後エース服部が待望の先制点をとり、勝つことができました。四回戦の須磨東とは、一進一退の試合となりました。小野高伝統の守備を武器に前半は小野高ペースの試合となり後半勝負となりました。望んだ後半、少しのすきを突かれ失点。最後まで全力で走り切りましたが、点を取り返すことができず、三年全員で挑んだ総体は終わりました。試合後、負けた悔しさと、もうこのメンバーで試合ができないという寂しさでいっぱいでした。しかし、僕たちのこの三年間はとても充実しており、いい指導者、いい仲間恵まれ、今は感謝の気持ちでいっぱいです。高校サッカーには冬の選手権があり、三年生は四人が残りました。次こそは、全国に行けるように、みんなの思いも背負って戦います。

### 男子卓球部

#### 【戦績】

男子団体

1 回戦 小野 西宮今津 1 - 3

男子シングルス

1 回戦 佐伯(小野) - 浜村(神戸高専) 0 - 3

【部長挨拶】(F 佐伯剛史)

キャプテンとしての任を終え、とうとう部活を引退する時期がやってきました。今年は新人戦、総体の両方に団体で県大会出場を成し遂げました。さらに県総体にシングルで出場できたのは過去数年ぶりです。2 回戦に進出するという目標は残念ながらかないませんでした。これからは団体で県大会に行くことを伝統としていってほしいです。この1年間、キャプテンとしての目標は部活の中に小さな社会性をもたせることでした。この目標を設定したのは、いままでの男子卓球部はすごく荒んでいて「部活じゃない」とまで言われていたそうですが、「そんな卓球部を変えてやろう!」と決意したからです。具体的にまず役割分担をしました。誰が何を準備する、と決めるとそれぞれが責任を持って行動するようになり、部活の開始時間を早くする事が出来ました。そして、様々なことについて最終決定をくだすのはキャプテンですが、それまでに思ったことや直すべきところはどんどん意見してほしいということ部員に伝えました。それによって個々を尊重し、みんなで団結を深め、良い方向へ進める事ができました。3 年生が後片付けをしていると後輩が自主的に「かわりにやります!」と来てくれた時はすごくうれしかったです。キャプテンという任を通して僕はとても成長する事ができたと思っています。すべては様々な配慮や応援して下さった顧問の先生方のおかげであり、感謝しています。ありがとうございました。

### 女子卓球部

#### 【戦績】

東播総体【団体ベスト 8】

1 回戦 小野 3 - 0 高砂, 2 回戦小野 2 - 3 東播磨  
ダブルス ベスト 8

1 回戦 藤原・松田 3 - 1 畑・岩崎(東播磨)

2 回戦 藤原・松田 1 - 3 天野・森(明石商業)

シングルス 決勝トーナメント

2 回戦 松田 2 - 3 松永(明石商業)

県総体【団体ベスト 16】

1 回戦 小野 3 - 0 柏原, 2 回戦小野 3 - 1 県立尼崎,

3 回戦 小野 0 - 3 明石西

ダブルス

1 回戦 藤原・松田 2 - 3 林・大田(武庫川女子)

シングルス

1 回戦 松田 0 - 3 松嶋 ( 芦屋学園 )

【部長挨拶】(B 藤原直子)

女子卓球部の一員として約 2 年間、また、キャプテンとして 1 年間やってきて、今までを振り返ると、本当に楽しく、つらく、そして、充実した日々を送ることが出来ました。先輩たちが引退されてから、自分たちがしっかりとチームを引っ張っていかなくてはならなくなりました。思っていた以上に部活を引っ張っていくのは難しく、キャプテンとしてどうあるべきか、先輩としてどういうことを後輩に伝えていけるのか、悩みに悩んだ時期もありました。でも、そんなときに周りにいたチームメイトが支え、励ましてくれました。やっても、やっても結果が出せない時も、みんなの頑張る姿を見て、あきらめずに頑張ろうと思えました。仲間のいる心強さを感じました。総体では、1 回戦目から強豪校でした。しかし、1 人、1 人があきらめないプレー、応援をして、勝つことが出来ました。結果は、近畿出場まであと 1 歩のところまで敗れました。でも、こうして最後まで最高のメンバーと、顧問の先生と共に部活を続けてこられてとても幸せです。また、小野高校で卓球を続けてきて多くの人に出会い、支えられ、そのおかげで自分自身を成長させることが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。

私にとって、小野高校の女子卓球部で過ごした約 2 年間の思い出と、仲間は一生の宝物です。

### 男子バレーボール部

【戦績】

県総体

1 回戦 小野 - 東播磨(25 - 20 , 20 - 25 , 23 - 25)

【部長挨拶】(G 富田和馬)

印象に残っているのは、マナーも悪くてふざけたような態度したやつが自分より身長が 10 センチ以上も高く、かといって、仮に身長が同じでも勝てないだろうなと思うほどうまくて、どうにか越してやろうと努力しても次会った時にはそいつだつてうまくなっている。チーム戦なのを言いことに仲間を頼ってみても何も、どうにもならない現実。そうかと思えば、自分たちより礼儀正しくて練習もたくさんしているようなチームがいつまでたっても自分たちに勝つことができないという現実。それを見て「あいつらからしたら、おれらはこんな風に見えるのか」と思って悔しくなるし、スポーツは残酷だ。結局うまいやつ集めたら強いのかと思えた。こんなおれにも、諦めずにずっと、色々考えて一生懸命バレー教えてくれるあいつには何度

も申し訳ない気持ちになった。でもたぶん、スポーツはそうじゃないところもあった。平均身長も体格も違うチームに勝ったり負けたりもしたし、陽気なあいつが怪我して、ろくに動けないのに頑張ってるコートに立っているときも同じように勝ったり負けたりした。尊敬するほど、淡々と真面目に練習しているあいつが最後の一点を決めることもあったし、最後にミスすることもあった。そして、いつもバスケのリングをつかんで自慢してくるあいつは一体なんなのでしょう。散々としたことをまとめると二年間を通して改めてスポーツの不思議な面をたくさん見た部活をやるのは、体力のためだとか、精神力のためだとか、生活を充実させるためだとか、きずなのためだとか、人はきれいに言うけれど、本当はしんどさや嫌なことが大半だと思う。しかし、その中で自分は確かに楽しかったし、やっていた良かったと思う。支えてくれたみんな、すてきな青春をありがとう。

### 女子バレーボール部

【戦績】

県総体

1 回戦 小野 - 姫路商業(17 - 25 , 18 - 25)

【部長挨拶】(F 繁田有沙)

私たち女子バレーボール部は、この総体で 3 年生全員が活動を終わります。結果から言うと、私たちはこの最後の大会で、今までやってきたことの成果を出し切ることができませんでした。練習で手を抜いたつもりはありません。それでも、今回は勝つことができませんでした。どれだけ一生懸命やったことでも、報われない事があるのだということ、身をもって知りました。その半面、去年果たせなかった県大会出場という目標のひとつを、選手権と新人戦の両方で達成することができました。このような本当の厳しさや本当の喜びを知ることができたのも、信じて挑戦し続けることが出来たからこそであり、得たものは多く、成長できたと感じています。そして、部活動が終わった今、なんとか私たちが勝たせるために、力を尽くして下さった顧問の神戸先生、幸田先生、いつも気にかけて、応援して下さっていた先生方、私たちをサポートしどんなときでも応援してくれていた家族、厳しいことを言い合いながら共に頑張ってきた先輩方と仲間たち。私たちを支えてくださった全ての方に、本当に感謝しています。その支えがあったからこそ私たちはこの辛くとも充実した 2 年間をやり通すことができたと思います。これからは部活動を通して得たものや、感謝の気持ちを忘れず、部活動での目標を、それぞれの受験での目標へ切り替え、今度こそは最後の最後

まで粘り切って、良い結果を出せるように、頑張りたいと思います。

## 男子バスケットボール部

### 【戦績】

県総体

1 回戦 小野 83 - 92 伊丹北

### 【部長挨拶】(D 松本雄大)

男子バスケットボール部は、3 年生が 6 名という少ないメンバーでこの 2 年間一緒に練習に励んできました。総体では先輩たちを越えたいという気持ちで「3 回戦出場」という目標を決めました。しかし、1 回戦で伊丹北に 83-92 で負けてしまい、達成することができませんでした。最初、僕は部長を引き受けるつもりがなく、部長と決まったときはとても憂鬱で、嫌がっていました。声を張ったりみんなを積極的に引っ張ったりしていくことが苦手で、自分でも情けなかったです。大変な苦勞を部員にはさせてしまい、本当に申し訳ないと思っています。

しかし、自分勝手ではありますが、この部長という経験は自分のいろいろなところを成長させてくれました。自分なりに試行錯誤をしながら仕事をすることで、新しいことを見つけることができ、いろいろな人の意見を聞くことで、バスケ自体に対する考えも変わっていきました。今では、あの部長として悩んだ日々が自分の血肉になってくれています。新しい世代を担う後輩のみんなの大きな練習の声を聞くと、頑張っているんだなと分かって、頼もしいです。これからも頑張ってください。引退した今に至るまで、指導をしてくださった野口先生、牛尾先生、校長先生には感謝しても仕切れません。3 年間本当にありがとうございました。

## 女子バスケットボール部

### 【戦績】

県総体【第 8 位】優秀選手 安福なのは

2 回戦 小野 105-49 宝塚

3 回戦 小野 73-70(延長) 三田西陵

4 回戦 小野 58-57 宝塚東

5 回戦 小野 51-45 武庫荘総合

準々決勝 小野 51-80 須磨学園

近畿代表決定リーグ 小野 71-73 市西宮，

小野 43-87 鳴尾， 小野 56-80 川西緑台

### 【部長挨拶】(D 馬場ひかり)

私たち女子バスケットボール部は県優勝を目標に日々の練習に取り組んできました。結果、県優勝をすることも、全国・近畿に出場することも、打倒私学を達成することも

できませんでした。正直にいうと、この結果はとても悔しかったです。でも私は全く後悔していません。自分たちの力を出しきることができた結果だからです。女子バスケットボール部の日替わり名言集(分からない人は女バスにきてください)に「した後悔より、しない後悔の方が、ずっと大きい。チャレンジしましょう！」という言葉があります。まさにそれだったと思います。自分たちのすべきことをやりきったので悔しさはあっても後悔はありません!!!

また、この総体に限ったことではありませんが、私たちはいろいろな人に応援してもらって、支えてもらってここまですることができました。毎試合それが当たり前かのように応援に駆けつけてくださった保護者の方々、職員室前や教官室前で出会うたびに「次も頑張れよ」と声をかけてくださった先生方、月曜日に教室にいくと「試合どうやった？」と聞いてくれる友達……。他にも私の気づかないところでも、たくさんの人が応援してくださっていたのだと思います。感謝してもしきれません。本当にありがとうございました!!!

私たちは、女子バスケットボール部で本当にかくさんのことを学びました。ここには書ききることはできませんが、学んだことを受験やこれからの生活に生かしていきたいと思います。

## 柔道部

### 【戦績】

東播総体 小野 1 - 3 加古川北，小野 1 - 4 明石南

県総体 小野 1 - 3 三田学園

### 【部長挨拶】(F 蓬莱保幸)

僕は、この 1 年間柔道部部長として柔道部を引っ張ってきましたが、最後の県総体の団体戦は、結果として負けてしまいました。県総体では僕は、個人戦は残っていなかったため試合は団体戦でした。自分にとっては最後の試合になるかもしれないので本当に緊張していました。そして僕は試合では引き分けてしまいました。確かに緊張していれば体が硬くなることはありますが、僕は試合になると体が硬くなってしまふことは練習不足ということも関係していると思います。その理由としては、練習をしっかりとしていれば自然と体が動くようになり、しかも十分に練習をしていけば、試合の相手よりも自分は優っていると思うことができ、そのように思うことができれば自分にも自信を持つことができ、試合に関して不安を感じることは少なくなると思うからです。そして僕が伝えたいことは、何事であってもそのことに対して練習をしたり、準備をすることは大切であるということです。これは基本的なことだと

と思いますが、妥協してしまったり面倒くさくなりしなくなってしまう人はいると思います。それにこの基本的なことから固めていってもらってほしいです。

## 剣道部

### 【戦績】

第60回兵庫県高等学校剣道大会

男子団体(ベスト16)

2回戦 小野4-0上郡, 3回戦 小野3-2滝川,

4回戦 小野2-1東播磨, 5回戦 小野0-4東洋大姫路

女子団体

1回戦 小野2-2三田西陵(本数負け)

男子個人

後藤(小野) - 崎尾(近大豊岡), 後藤 - 香川(神港学園) - 負け, 益田(小野) - 久留島(仁川), 益田 - 田村(龍野), 益田 - 森中(県立大附) - 負け

女子個人

小川(小野) - 奥元(須磨ノ浦) - 負け

### 【部長挨拶】(G 後藤 啓)

3年間の部活動をふり返ってみると、精神的に大きく成長できたのではないかということが率直な感想です。最初の2年間は専門の先生がいらっしやらない状況のため、自分たちで考えて稽古していくしかありませんでした。「自分で」することの厳しさやしんどさを感じました。

総体では団体戦で惜しくも近畿大会は逃しましたが、最後の大会でベスト16という結果を残せたことを大変うれしく思います。蜻蛉魂、逃げない心をもって試合に挑めたこと、それがこの結果につながったと思います。ご指導いただいた先生方、支えてくれた家族、そして一緒に戦った仲間、なにより自分のために最後の大会に取り組むことができ本当によかったです。これからも感謝の気持ちを忘れずに、悔いが残らないよう本気で取り組んでいきたいです。

## 空手道部

### 【戦績】

県総体

男子団体形：準優勝, 男子個人組手：第5位荒木崇丸

男子総合成績：第4位

女子個人形：第3位入江郁香, 第5位 米田彩

女子団体形：準優勝, 女子団体組手：第3位

女子総合成績：第3位

### 【部長挨拶】(D 荒木崇丸)

私は空手道部の主将としてやってきて、本当によかったです。

と痛感しています。2年間半部活をやってきて苦しいこととか、なかなか上手いかない時たくさんありましたが、部員全員が一つの目標に向かって練習に励んできました。県総体では、部活をやってきた集大成として、ただ「やりきる」という思いでした。試合に負けたときは悔しかったです。今は清々しい気持ちでいっぱいです。それは部員全員が自分のやるべきことを精一杯やったからこそ、自分たちの納得のいく良い結果が得られたのだと思います。空手道部の主将として振り返ってみて、仲間はたとえ試合に出る選手であろうと、補欠の選手であろうとも、1つのチームとして一緒に頑張ってきました。また、チームメイトが勝った時には自分のことのように一緒に喜ぶことができる仲間でもありました。主将としてちゃんと仕切ることができず、悩んでいたときも、仲間が心の支えでした。私は本当に良い仲間に恵まれていたと思います。そして、何より「あきらめない」ことが大切だと思います。今まで、全国大会出場などの雲をつかむような目標であっても、絶対に「あきらめない」という気持ちで一生懸命やってきたからこそ、成し遂げられたと思います。こんなに素晴らしい部は他にないと思っています。部活をやってきて本当によかったです。

また、今まで支えてくださった両親や先生方には本当に感謝しております。ありがとうございました。

## ソフトボール部

### 【戦績】

県総体

1回戦 小野13-1氷上, 2回戦 小野1-0日高,

3回戦 小野2-5加古川西

### 【部長挨拶】(A 竹内美咲)

6月8日をもって、私たちはソフトボール部を引退しました。新チーム当初からの目標であった「県ベスト8」は達成できなかったものの、最後の試合が終わった後、3年生は全員笑顔でした。大会の3試合の中で最も忘れられない試合となったのは、2回戦の日高高校との試合です。相手はシード校で、練習試合でも勝ったことはありませんでした。決勝点となった1点が入ったのは初回でしたが、そこから両チームとも相手に1点もやらず、1-0で試合は終わりました。途中、何度もピンチをむかえましたが、何とか守りきり、勝つことができました。あの時のチーム全体の集中力は、今までで一番のものがありませんでした。逆に、加古川西との試合では、但馬ドームでの試合ということもあってか、緊張しており、エラーが目立ちました。悔しい気持ちは残るものの、やりきったという達成感もあり、

3年生は皆笑顔で引退しました。

思えば、この2年間は決して楽なものではありませんでした。中学とはまた違う高校のソフトの雰囲気戸惑い、チームをうまくまとめられない自分の無力さに苛立ち、悩みました。そんな時、夜遅くまで私の話を聞いてくれた両親の存在は大きなものでした。親だけではありません。いつも私たちのために尽くしてくれた後輩。大会を運営してくださった方々。多くの人々に支えられて大好きなソフトボールができたことに感謝し、私たちが達成できなかった夢は後輩に託し、胸を張って小野高校ソフトボール部を引退します。

最後に、共に苦しみ、笑い、戦った6人の仲間。こんなにも素敵な仲間に出会えて、私は幸せです。今まで支えてくれて、本当にありがとう。

### 男子テニス部

#### 【戦績】

第23回東播総合地域大会テニスの部【第3位】

2回戦小野3 - 2 明石清水(S1 印南勇祐, S2 大久保遼平, S3 木村勇揮, D1 小松太我・福崎智弘, D2 片岡誠博・井上寛也)

3回戦小野0 - 5 明石城西

県総体

2回戦小野1 - 2 六甲(S1 印南勇祐, S2 大久保遼平, S3 中右卓也, D1 北芝拓哉・寄神寿明)

【部長挨拶】(F 印南勇祐)

結果から申し上げますと総体の団体戦は惨敗に終わってしまいました。硬式テニス部は今まで5年連続県ベスト16という実績を上げてきました。特に去年は、県ベスト8まで上り詰める事が出来ました。そんな上り調子の状態で部を引き継ぐことになったのが、私達65回生の代です。自分が部長を務めることになった瞬間、正直とても不安でした。しかし、そんな不安な自分を支えてくれたのがテニス部の仲間たちでした。時にはお互い大声で笑ったり喧嘩したりして、友情を深めましたそんな最高の状態で3年生最後の大会の総体に臨みました。

先程も申し上げましたように結果は惨敗でした。自分は部長として、先輩方や一生懸命応援してくれた仲間たちに申し訳なくて、その場で泣き崩れてしまいました。こうして私達の代は悔しい結果で幕を閉じることとなりました。確かに結果は悔しいものに終わりましたが自分はこの部活動を通して得たものがあります。それは「仲間との関係」です。自分は硬式テニス部に入ったことによって、いろいろな人たちに会う事が出来ました。同じ時を過ごし、同

じ苦しみを味わい、同じ喜びを感じ合った同級生、そして先輩・後輩のみなさん、本当にありがとうございました。

水泳部、野球部はこれから本番を迎えます。各部長に意気込みを語ってもらいました。

### 水泳部

県総体への意気込み(E 親家孝拓)

私たち水泳部は、6月22日～24日に県総体が開催されます。今年度は、小野高校水泳部の黄金時代と言っても過言ではない、パワーアップした選手を大勢抱えての出場となり、例年がない、ひしひしと意気込みが感じられる日々の中、各々の目標に向かって一意専心練習に励んでいます。去年は、他校チームの選手陣にあと一歩及ばず、チャンスをものに出来ないレースが数多くあり、後悔の連続でした。しかし、これは僅差に競り勝つという課題を、私たちに与えてくれた試合だと思い、改善に改善を重ねて来ました。このような過去を刻んできた今、私たちは、これまでのレースを、今回の総体のエネルギーの一部として、また、今日この日まで、私たちを支えてくださった先生方や、応援してくださった人々への感謝の気持ちを忘れることなく、感動的で、悔いの残らない部活動の集大成を迎えたいと思っています。そして、大人数での近畿・全国大会出場を、部の大きな目標とし、結果に拘っていきます。どうぞ応援よろしくお願いします。

### 野球部

大会に向けて (A 金丸法史)

今、野球部は来月から開幕する全国高校野球選手権大会兵庫県予選に向けて日々練習しています。また、この大会が3年生にとって最後の大会でもあります。自分にとっても最後の大会で、この小野高校の野球部で活動できるのもあと少ししかありません。僕にとって小野高校野球部はかけがえのないものです。中学生の時に小野高校のオープンハイスクールに行き、初めて野球部の練習を見て感動と衝撃を感じたのをよく覚えています。そういう思いで入った野球部も、もう終わりに近づいています。

夏の大会では、小野高校で今まで学んできたこと、取り組み、野球に対する意識をすべて出し切り、そしてこの小野高校野球部を支えてくださった地域の方々や学校の先生方に自分たちがやってきたことを試合で表現し、自分たちの姿をたくさんの方々に見ていただきたいと思っています。全力を尽くしますのでご声援をよろしくお願いします。